

勝てる提案書づくりと プレゼンのノウハウ

PPP-PFI、コンセッション方式、指定管理者制度、総合評価方式などの
公民連携事業の競争入札や公募に参画する事業者必携！

プロが教える！
発注者に評価される
テクニック。



業界の
新定番

事業提案書の作

ベックス株式会社
代表取締役

岡崎 明晃 [著]

発行：日刊工業新聞社

A5判・並製・196頁

定価：本体2,300円＋税

ISBN：978-4-526-07898-9

第1章
第2章
第3章
第4章
第5章
第6章
第7章

公共施設等の整備・運営事業を取り巻く環境
要求水準等の公募資料を読み解くポイント
事業提案書作成のための体制づくり
事業提案書作成のプロセス
事業提案書のポイント
高評価の事業提案書の作成ノウハウ
プレゼンテーションに挑む

公民連携事業1000件以上に取組み、受注確率50%以上という 驚異の実績を誇るエキスパート集団が伝授する

長年の実務経験やセミナー・講演会での気づきを一冊の本に要約し公開すれば、PPP-PFIの普及発展の一助となるのではないか…。そう考えて本書を出版しました。

第1章ではPPP-PFIをはじめ、コンセッション、特定管理者制度、および総合評価方式等、公共事業の各種事業形態や評価方式に触れ、公共施設・サービスに関わるトレンドを概説しています。

第2章では発注者は何を求めているのか、募集要項や要求水準書から何を掴めばいいのかについて私なりの見解を述べています。第3章～第6章では、提案書にまつわるあれこれを詳述しています。全ページ数の半分以上をこの部分が占めます。受注・選定獲得のキモとなるのが提案書なので、ぜひ目を通していただきたい部分です。

第7章では、ここへきて、その重要性が一段と高まっているプレゼンテーションについて言及しました。各章の末尾には個人的な思いやエピソードを綴ったコラムを配しています。

提案書やプレゼンのくぐりには、PPP-PFIの実務のみならず、さまざまなビジネスシーンでも有用となる普遍的な事柄を少なからず紹介しています。本書がPPP-PFIの受注・選定を目指す企業関係者はもとより、行政機関の関係者、さらに各方面で活躍されるビジネスマンの方々の目に留まり、少しでもお役に立つことができれば幸甚の至りです。

(本書「はじめに」より)

著 者



岡崎 明晃 (おかざき あきみつ)

ベックス株式会社 代表取締役

1975年早稲田大学工学部卒 三菱化工機、東燃化学でプラントエンジニア、新規事業企画、開発営業などを経験。早稲田大学ビジネススクールにてベンチャー起業理論コースを習得。マネジメントからメンテナンスにいたるまで幅広い知識とノウハウを活かして、ベックスを03年に創設。中野サンブラザの民営化では、地元企業をまとめ、事業計画書作成とコンサルティング業務を実施して成功に導き、PPP(公民パートナーシップ)の先駆的役割を果たす。

ベックス株式会社



提案力と表現力を兼ね備えた“とりまとめ力”を強みとする総合企画マネジメント会社。メイン業務は、民間サイドに立った、提案書の作成支援、デザイン・パース・動画の制作、公共施設の管理運営・立ち上げ支援、各種モニタリングの実施・評価、等。近年は、民間企業による都市再開発事業や海外向けの事業案件などにも取り組む一方、自治体など発注者サイドの支援もしている。2003年設立以来、1000件以上のPPP-PFI等に関わった実績を持つ。

全国の書店、または Amazon等よりご購入いただけます。
お問合せは、下記までお願いいたします。

ベックス株式会社 マーケティング部 03-5298-3036 info@bex-corp.jp